

名勲有餘
研究會
地云

年獲士堤良明為村陸雄元新聞記者
彌井久示右郎等去年冬若働争議研究
會十名ノ組織ノ昨年一日午前十時より自働
車ノ以テ三夏川崎内迄船所及争議團

本部等ノ御問ノ為リ

高小既報ノ最ニ白能ニ回カ決議音ハ派遣隊

隊慰問ノ件、昨二十八日午前八時九記、自々

慰問状ヲ派遣隊ノ邊附レタル付テ下部下

傳達スリ吾々在レ迄事ノ御返シ見者神々

早肉、派遣隊より本日御報あり

右及申(通)報候也

一争議團ノ慰問状

7.28
場際ノ
慰問状

爾終時下炎日者、候、貴隊益々御清栄
ト存レ奉リ候備此度は神々五万の若働
階級の争議の爲めに遠路姫路より御出
張下されし神々市の治安の爲めに御尽力
下され候に候、誠感謝奉候先は日者中
御見舞音の御慰問申上候

敬白

大正十年七月二十八日

神々労働団体本部

神々派遣隊御中

高
通
二右・研究會

町重方若御慰問に對し深く感謝の意